

コンピュータ将棋「習甦」

竹内 章

特徴: 多層構造を持つ評価関数

- 以下の2項目により構成
 - ・ 駒の価値
 - 盤面全体の駒の利きと持駒および手番から算出する玉の安全度に対応した非線形関数
 - ・ 駒の働き
 - 玉の筋および手番に対する玉以外の2駒の相対位置関係
- 各パラメータを強化学習により調整
 - ・ フィッシャーランダムチェスに準じたユニークな初期局面2494800からの自己対戦
 - 通常の対局では実現しにくい局面でも正確な評価を目指す
 - ・ 割引報酬は自己対戦棋譜における評価値の推移をフィードバックして推定された勝率
 - 数手進めた局面および終局時の評価値・勝率を反映させる